



紫式部（ムラサキシキブ）

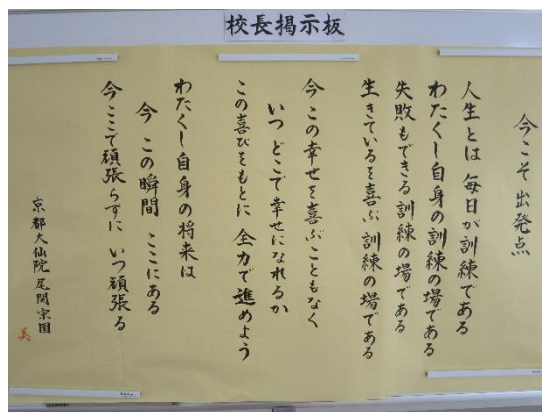


みなさん、「紫式部」という植物をご存じですか？ 今の時期に雑木林で鮮やかな赤紫の果実をつける落葉性の低木です。名前の由来は源氏物語の作者の紫式部から付いたという説と、紫色の綺麗な実が重なるようにたくさんなることからムラサキシキミ（紫重実）と呼ばれるようになり、そこからムラサキシキブと呼ばれるようになったという説があります。「聡明」「上品」といった花言葉は、紫式部から連想されてつけられました。

英名は、Japanese beautyberry というそうです。ちょっと注意をして見てみると、みなさんの周りでも、この「紫式部」、見つかるかもしれませんね。



一後期に頑張ること一



後期の始業式の式辞で、私は子どもたちに今の自分より少し高いところに目標を設定するようという話をして、半年をかけてやり遂げる目標を考えてもらいました。

子どもたちは、自分が思っている以上に素晴らしい力や可能性を持っています。「日々の生活の中では失敗することもたくさんあり、悩むこともあるでしょうが、中学生の今の時期は訓練の時期です。失敗してもよいのです。誰しもが失敗しながら成長をしていくものです。後期は失敗を恐れず、自分が決めた目標に向かって、最後まであきらめずに頑張ってもらいたいと思っています。」ということを伝えました。

私は、子どもたちに、今しかない大切な瞬間を一生懸命に生きてほしいと心から願っています。前期は、コロナ禍のためにできないことも多かったですが、後期こそ、さまざまな活動に全力で取り組んでほしいという願いを込めて、大徳寺大仙院、尾関宗園和尚様の『今こそ、出発点』という詩を子どもたちに送りました。「今ここで頑張らずに いつ頑張る」という最後の一節は、私にとってもずっと励まし、後押しをしていてくれる力強いことばです。

◆『今こそ出発点』は校長掲示板で紹介しています。来校された時にご覧ください。

「後期にがんばること」 1年2組 島崎 凪生

私は、後期で自分の弱さに負けたくないということをがんばりたいです。前期では、めんどくさいからなどの理由で、あまり積極的に動くことができませんでした。家でも、自学や宿題にすぐに取りかからないで後回しにすることが多かったため、自分の弱さに負けたくないことを目標にしました。心の中には、今やらないといけないという気持ちと後でもいいという気持ちがあり、いつも私は楽な方を選んでしまいます。ですから、これからは自分に厳しくしていきたいと思います。



後期では、野外学習があります。学校では見つけられない友達の良さに気づけたり、友達との絆が深まったりする良い機会だと思います。班やクラスの人々と協力し、楽しみつつ、心だんは学べないことをたくさん勉強したいです。そして、さらに良い学年になるよう、毎日を大切に過ごしていきます。

「後期に頑張りたいこと」 2年2組 松田 梨花

二年生での後期での頑張りは、最高学年に向けての一步だと思います。だから、今まで以上に何かを見つけて率先して動かないといけません。

まず、私が頑張りたいことは、部活動です。私はキャプテンになり、号令をしたり試合の気づきをみんなに言ったりしています。まだ上手くいかない事の方が多いですが、みんながお互いの良いところや悪いところを言い合ったり、試合中に自分達から率先して声を出せるよりよいチームを作りたいです。

また、今年はコロナウイルスの影響で職場体験がなくなり、環境学習に変更されました。そこで、楽しむだけではなく、学年目標である「感じて動く」を意識して環境学習に取り組みたいです。「感じて動く」ことを意識し、困っている人の手助けやゴミ拾いなどが出来るようになったら、二年生全体としても大きく成長することが出来ると思います。環境学習やその他の行事などで自分自身のことも大切ですが、周りのことも考えて動けるように成長したいです。これは、私だけでなく、二年生みんなのことであります。最高学年になるまでの残り半年間、頑張りたいです。



「後期の目標」 3年2組 中島 日菜花

10月21日は、私たち三年生にとって最後の合唱コンクールになります。体育大会で練習する時間があまりありませんでしたが、本番ではクラスの皆の心を一つにして、金賞を目指して頑張りたいと思います。

合唱コンクールが終わったら、次は入試です。高校入試は、私たちの将来の

ための登竜門だと私は思います。私達三年生は、早い人は3か月後、遅い人は4か月後に高校入試が待っています。ただでさえ、中三の授業の内容は難しくなるのに、入試対策も同時進行をしなければなりません。そんな忙しい日々を私達三年生は過ごしています。自分の将来のために、皆一人一人違う進路に進みますが、助け合い、支え合い、励まし合って希望していた高校に合格するという大きな目標を持ち、受験勉強に励もうと思います。



2020 第74回「読書週間」 10月27日(火)～11月9日(月) 生徒のみなさんへ



今年も「読書週間」の時期となりました。今年の標語は『ラストページまで駆け抜けて』です。本校では、毎朝、「読書タイム」の時間に全校生徒が読書をしています。この期間は、学級毎に図書室で読書をする時間を設けています。

私が中学生の時に読んだ本でよく覚えているのは、「坊ちゃん」「車輪の下」「斜陽」、詩では国語の授業で習った高村光太郎や中原中也の詩、英語の先生から紹介された「クリスマスキャロル」などです。当時、読んだ本を大人になってから読むと、また違った感想を持ちます。私は、絵本を好んで読んでいますが、大人になっても感動したり考えさせられたりすることが多いです。図書室には、さまざまなジャンルの本がたくさんあります。新しい本も入っていますので、興味のあるところから、手に取って読んでみませんか。



今回の私のおすすめの本は、絵本「なまえのないねこ」(文 竹下文子氏 絵 町田尚子氏)です。何とも言えず、心がほっこりする絵本です。疲れた時に開いてみると、きっと癒されますよ。

